

ふるさと 大分の日本画家たち



平八郎
福田

福田平八郎《鮭》1958年

2019年6月15日(土)▶7月7日(日)

休館日：6月17日(月)・24日(月)

会場：大分市美術館企画展示室

開館時間：午前10時▶午後6時(入館は午後5時30分まで)

観覧料：一般800(600)円／高校生・大学生600(400)円／中学生以下は無料

※()内は団体[20人以上]料金。

※上記観覧料でコレクション展も併せてご覧になれます。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料。

※本展は「大分市美術館年間パスポート」がご利用になれます。

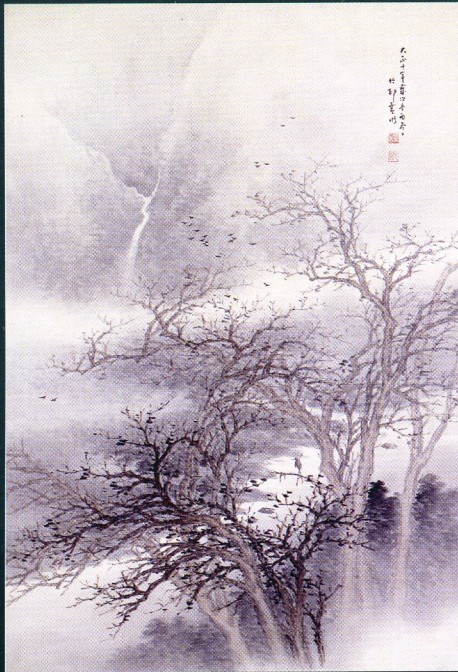
主
後

催：大分市美術館

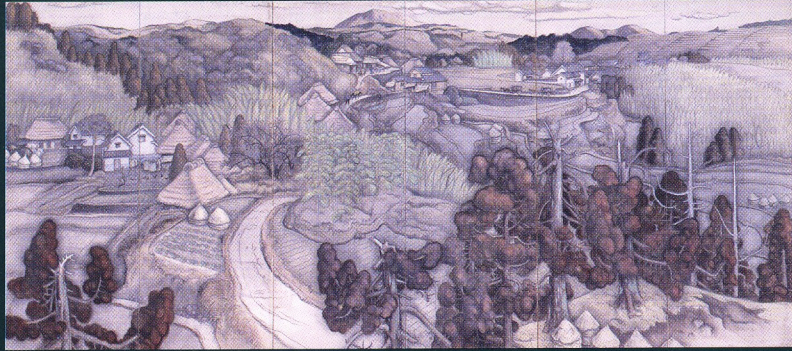
援：大分合同新聞社 NHK大分放送局 OBS大分放送 TOSテレビ大分

OAB大分朝日放送 エフエム大分 J:COM大分ケーブルテレコム

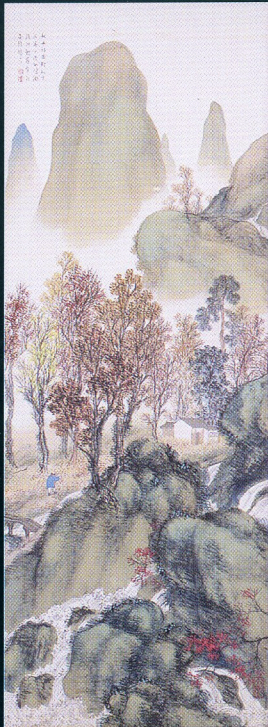
 大分市美術館
OITA ART MUSEUM



田近竹邨《寒柯帰漁図》1921年



首藤雨郊《薩摩街道の冬》1921年頃



高倉観崖
《四季山水図(秋図)》
1937年



高山辰雄《燈》1985年



幸松春浦《山水図屏風》1924年

私たちのふるさと大分は、明治後期から大正期にかけて文展・帝展で活躍し、一九二一年の「日本南画院」創設に尽力した田近竹邨をはじめ、「大分県美術会」結成に向けて中心的役割を果たした松本古村、官展重視の画壇から距離を置き、独自の創作活動を展開した高倉観崖、大阪を拠点に活躍した幸松春浦、文化勲章受章者の福田平八郎、高山辰雄といった、数多くの優れた日本画家たちを輩出しています。

本展では、田近竹邨(1864～1922)から、約100年にわたる大分出身・ゆかりの日本画家たちの画業の足跡を大分市美術館・大分県立美術館・別府市美術館が所蔵する秀作の数々で紹介します。

講演会 (聴講は無料です)

■ 場所: ハイビジョンホール ■ 時間: 午後2時▶3時 ■ 定員: 80名 (先着順)

6月15日(土)

鈴木 忠実氏

(大分県日本画協会 会長)

6月22日(土)

渡辺 恭英氏

(大分県芸術文化振興会議 顧問)

展示解説 (観覧料が必要です)

■ 日時: 会期中毎週水曜日 午後2時▶(30分程度) ■ 場所: 企画展示室 ■ 解説: 当館職員

 **大分市美術館**
OITA ART MUSEUM

〒870-0835 大分市大字上野865番地
TEL: 097-554-5800
FAX: 097-554-5811

<http://www.city.oita.oita.jp/> → 便利ナビ → 大分市美術館



バス: JR大分駅上野の森口(南口)バスのりばから
中心市街地循環バス「大分きんバス」【大分市美術館方面】行 約7分
タクシー: JR大分駅上野の森口(南口)から約5分
車: 東九州自動車道/大分ICから約10分